

兵庫県版

日本の息吹

兵 庫 版

第一九二号平成二九年（皇紀二六七七年）十月二日号
 日本会議兵庫県本部事務局
 〒650-0015 神戸市中央区多聞通三丁目一
 兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）
 URL <https://www.nipponkaigihyogo.org/>
 Eメール nipponkaigihyogo@gmail.com



《第三回 美しい日本の憲法を作る兵庫県民の会総会》

九月一五日（金）、「美しい日本の憲法を作る兵庫県民の会」主催により、神戸市産業振興センター三階のハーバーホール大ホール（神戸市中央区）にて、一七時四五分より総会、一八時三〇分より講演、同ビル「はあとす」にて二〇時〇〇分より懇親会が行われた。

国旗儀礼の後、国歌斉唱、共同代表（泉和慶兵庫県神社庁庁長）挨拶、来賓紹介、来賓祝辞、意見表明、祝電披露、活動報告、聖寿万歳と続いた。

【総会】

「ありがたいとう自衛隊！世界の中の日本」と題して、井上和彦先生（軍事ジャーナリスト）よりユーモアたっぷりにご講演頂いた。内容は、大きく分けて自衛隊の現状と北朝鮮状況

の二点。概要は以下の通り。北方領土と離島問題、尖閣諸島問題の核心部分はロシア・中国にするとアメリカが対象なので日本との交渉に当たらないこと、韓国経済は朴槿恵時代に中国経済に取り込まれたこと、人口比をみると日本は明らかに軍事小国であること、集団的安全保障の大切さ、防衛予算は保険料、北朝鮮の核実験状況、あつてはならぬ

いことは言っていないこと、北朝鮮の崩壊が中華人民共和国の崩壊に繋がること、軍事は戦争を起こさせないためのもの、北朝鮮の大陸間弾道弾への対応、震災での日米同盟・自衛隊員の素晴らしさ、シーレーン防衛の重要性、PKO・ODAによる信頼関係の構築の大切さなどご講演頂いた。

兵庫県版の編集は、毎月月末締切。翌月一日〜一日編集。一日〜二〇日印刷・発送準備。二〇日発送。

【事務局より】

投稿希望の関係者は、原稿を月末厳守でお願い致します。



《 10月22日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 11月2日(木)姫路 6日(月)神戸 10時半 兵庫縣護國神社秋季慰霊大祭
 ※3日(金・祝)午前7時 神戸護國神社清掃奉仕活動(活動後お茶とお結び) 要連絡 07055082577
- 11月5日(日)11時半〜13時 憲法街頭活動 神戸大丸前 連絡先 07055082577
- 11月18日(土)14時日本会議兵庫中・西播磨支部学習会「廣瀬武夫」講師 田中昭夫(姫路師友会長) 申込先079-224-0885 (FAX)
- 11月25日(土)14時 三島由紀夫・森田必勝両烈士追悼祭(13時30分開場) 問合先 07055082577
 (会場:長田神社 2,000円 先着50名会員限定 要予約(申込先月号ご参照) 記念講演;講師百地 章先生)
- 12月9日(土)15時 日本会議兵庫神戸支部設立総会(記念講演;講師 西岡 力先生)申込別紙
 (会場:楠公会館 湊川神社 参加費 事前1,500円(当日2,000円)学生割引有 懇親会5,000円)
- 12月23日(土)8時半〜日本会議兵庫中・西播磨支部 姫路護國神社清掃奉仕活動
- 2月11日(日)建国記念の日を祝う会(神戸, 姫路) (記念講演;講師未定)

《第九回 日本会議東播磨支部総会》

平成二九年九月一〇日（日）、グリーンヒルホテル明石にて、第九回日本会議東播磨支部総会が行われた。

【総会】

国歌斉唱、皇居遥拝、綱領

詐話師 吉田清治を操って

【講演会】

唱和、支部長挨拶、来賓紹介、来賓挨拶、メッセージ紹介、事業報告及び収支決算報告、役員紹介、事業計画及び大まかな内容は次の通り。



あること、「南京大虐殺」は日本発であること、日本には「厚黒学」が無いから中国には勝てないと中国人から言われていること、一・二一号決議（アメリカ下院 対日非難決議）、「強制連行」は朝鮮総督が命令したのではなく朝鮮出身の末端官吏による事実を隠蔽し言い触らされたものであること、旧社会党から挺

対協に流れた資金でロビー活動がなされた結果拡大されたこと、慰安婦問題の原点は「樺太裁判」で吉田清治が強制連行をでっち上げたのが始まりであることなど、アジアでの戦後補償のカラクリについて語られた。

また、いわゆる従軍慰安婦事件は、吉田清治の長男の証言として、清治は濟州島に行っていないこと、編集者らと共謀して作ったこと、韓国政府が関与していること、吉田清治長男による謝罪碑撤去の経緯、「軍艦島」問題も日本発（鶴橋）によるでっち上げが元であること。また、曹

溪宗とキリスト教・日本仏教との関係、曹溪宗による国際ロビー活動など、ご講演頂いた。

父の謝罪碑を撤去します

慰安婦問題の原点「吉田清治」長男の独白

大高未貴

父が発信し続けた虚偽によって、日韓両国民が不必要な対立をすることも、それが事実として世界に喧伝され続けることも、これ以上、私は耐えられません。いつか私は吉田家最後の人間として、どうやって罪を償えばいいのでしょうか…。せめてもの罪滅ぼしに、決断しました。

「耐えられない」

長男の決意から始まった「撤去」をルポ

1983年(昭和58年)12月24日 土曜

憲法改正 成功させましょう！